

大津・SDGsくるくるチャリティプロジェクト2019

SDGsフォーラム THE BODY SHOP×叶 匠寿庵

『社会全体で考える ツクルとツカウ』



SDGsの取り組みは自然体で。本フォーラムでは持続可能な世界に向けて、グローバルに展開する企業＝THE BODY SHOPと、大津に深く根ざす企業＝叶 匠寿庵をお迎えします。
魅力的な商品を作り続けることと社会に貢献することを長年フロントランナーとして両立し続けること。その努力は外からはわかりづらいものです。事業者の方々も一般の消費者のみなさんも多くの発見や知見を得る貴重な機会です。第二部はワークショップ、フォーラム後は交流会も予定。

2019年 **10**月 **7**日 月

13:30～15:30 (開場13:00)

会場：スカイプラザ浜大津・ホール

大津市浜大津1-3-32 (京阪京津線・石阪線びわ湖浜大津駅 徒歩2分)

参加費
1000円

SDGsピンバッジ
お土産つき

第一部 「つくる責任つかう責任～企業の取組みから～」

講師：THE BODY SHOP JAPAN・株式会社 叶 匠寿庵より事例紹介

第二部 「生産から消費まで私たちにできること」

パネリスト：滋賀グリーン活動ネットワーク、吉本美枝子氏

※定員100名、先着順 (空席がある場合は当日も受付可)

託児あり (1歳半～未就学児、500円/人、1週間前までに要予約)

主催：大津市市民活動センター

協賛：株式会社叶匠寿庵、生活協同組合コープ自然派京都、小林事務機株式会社、株式会社滋賀銀行、
一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク、株式会社昭建、正和設計株式会社、

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社、第一生命保険株式会社滋賀支社、大樹生命保険株式会社、
大和ハウス工業株式会社滋賀支社、琵琶湖汽船株式会社、株式会社まちづくり大津、レーク商事株式会社

後援：大津商工会議所、大津北商工会、瀬田商工会、滋賀SDGs×イノベーションハブ、淡海ネットワークセンター
朝日新聞大津総局、NHK大津放送局、京都新聞、中日新聞社、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局、
株式会社滋賀リビング新聞社、びわ湖放送株式会社、株式会社F.M.おおつ、株式会社エフエム滋賀

お申し込み・お問合せ

大津市市民活動センター

〒527-0046 大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津1階

[TEL]077-527-8661

[E-mail]moveinfo@movementotsu.com



～登壇者紹介～

第1部「つくる責任～企業の取り組みから～」



成瀬 祐子氏（株式会社イオンフォレスト[BODY SHOP JAPAN]
マーケティング本部 コミュニケーション部 部長）

「ビジネスは世の中を良くする力になり得る」の信念のもと、1976年に誕生したザ・ボディショップ。オーガニックで厳選された安心安全なコスメティック商品を生産されるとともに、コミュニティトレードや地球温暖化防止キャンペーン、動物実験反対など先進的に取り組むグローバル企業です。日本では災害地域の募金活動やファンドも展開しています。



池田 典子氏（株式会社 叶 匠壽庵
秘書広報室 課長）

大津市大石に本社を置き、全国の主要百貨店を中心に約70店舗を展開する和菓子製造・販売業者。大津市の「寿長生の郷（すないのさと）」では「農工ひとつ」をかかげ、菓子の素材を自分たちで育てることで自然から学ぶ菓子づくりを行う。郷内では、社員が企画する百年先を見据えた里山景観保全活動を実施する他、毎年地元小学生との田植え・稲刈り・餅つき体験を開催。町内で休耕田活用にも取り組むなど社会貢献にも力を入れる。

第2部「生産から消費まで私たちにできること」



辻 博子氏（一般社団法人滋賀
グリーン活動ネットワーク 事務局長）

活動ビジョンは「滋賀からグリーン経済をつくる」。商品やサービスの生産・流通・消費活動を、環境に配慮した「グリーン活動」に転換することで、持続可能な社会をつくることを目指しています。今年20周年を機に、旧称の「滋賀グリーン購入ネットワーク」から「滋賀グリーン活動ネットワーク」に名称変更しました。様々な企業、団体、県内全自治体等約480団体が会員として参加し、連携して活動を広めています。



吉本 美枝子氏（大津男女共同参画
推進団体連絡協議会 幹事(前会長)、
NPO法人おおつ環境フォーラム
事務局長、ごみ減量と資源再利用
推進会議 女性懇話会 座長）

～関連企画のご案内～

日本国際ボランティアセンター ガザ支援事業は、
「大津・SDGsくるくるチャリティプロジェクト2019」の海外部門寄付対象です



SDGs講座「国際貢献とSDGs」～パレスチナのガザ支援から～

講師：大澤 みずほ氏

（日本国際ボランティアセンター パレスチナ事業担当）

パレスチナの中でもガザ地区は社会的、経済的に非常に困難な状況に置かれています。日本国際ボランティアセンター(JVC)では、もっとも影響を受けやすい子どもの栄養改善事業を継続しています。講座では支援の現場とSDGsについてもお話しいたします。

日時：10月6日（日）13：30～15：30

会場：大津市市民活動センター

中会議室（大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津1階）

参加費：1000円／人（パレスチナのお菓子つき）

お申込み・お問合せ：大津市市民活動センター（077-527-8661）

